

平成 24 年度 公益社団法人 日本リハビリテーション医学会 代議員総会 議事録

日 時：平成 24 年 5 月 30 日(水)

14 時 00 分～16 時 00 分

場 所：福岡 ホテルオークラ 平安

議長の選任

定款第 17 条に基づき、出席正会員の中から大串幹正会員が議長に選任された。また、副議長には菊地尚久正会員が選任された。

出席人数の確認

議長から、代議員総数 295 名、出席代議員数 211 名、委任状提出者数 55 名、合計 266 名で、定款第 19 条第 2 項に定める総代議員の議決権に必要な要件を満たし、代議員総会が成立する旨宣言された。

議事録署名人の選出

定款第 21 条第 2 項に基づき、議事録への記名押印を議長及び出席理事の中から生駒一憲理事、朝貝芳美理事を選出した。

議 題

■ 報告事項

I. 理事長報告

里宇理事長から、平成 23 年度における主な活動を総括して報告が行われた。

II. 平成 23 年度各種委員会報告

里宇理事長から、平成 23 年度の各種委員会及びリハビリテーション科専門医会の活動状況について、報告が行われた。

1 編集委員会報告

担当理事：川平和美

委員長：橋本圭司

委員長補佐：原 行弘

委 員：青柳陽一郎、伊佐地隆、荏原実千代、鈴木康司、馬場 尊、原 寛美、馬庭壯吉、渡邊 修

年度内交替委員：長岡正範、加賀谷齊

1. 委員会の開催

本年度年 6 回の委員会を開催した。(うち 1 回は論

文賞選考委員会を兼ねる)

2. 活動内容

1) 学会誌刊行の状況

平成 23 年 1 月から 12 月の間に The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine 第 48 巻 1 号から 12 号の計 12 冊が発行された。また、第 48 回日本リハビリテーション医学会学術集会抄録集を学術集会事務局と共同で、学会誌特別号として発行した。

2) 論文投稿・審査・掲載の状況

(1) 平成 23 年 1 月から 12 月の間の依頼原稿 9 編を除く投稿原稿は 28 編で、このうち 10 編を採用、4 編を修正後再審査、13 編を不採用とし、1 編の取り下げがあった。

(2) 第 48 巻の掲載論文は、原著 9 編、短報 3 編、症例報告 4 編、総説 8 編の計 24 編であった。

(3) 平成 24 年 1 月より 2 月 24 日現在で、10 編の論文が投稿された。

3) 投稿の呼びかけについて

会員への投稿の呼びかけについて、昨年度に引き続き第 48 回学術集会事務局と連絡を取り、発表演題の中から各座長に推薦をいただいた。

4) 委員長交替および新委員就任

長岡正範前委員長、加賀谷齊委員の任期満了に伴い、各委員の互選により、橋本圭司委員長、原行弘委員長補佐が選任され、新委員として、馬場尊委員、渡邊修委員が加わるようになった。

5) WPRIM

WPRIM による医学文献電子配信事業に関する覚書について確認がなされ、正式に契約が行われた。

6) 論文賞選考

論文賞選考内規に基づき、平成 24 年 2 月 17 日の論文賞選考委員会における審議により、最優秀論文賞、優秀論文賞、奨励論文賞の各賞を選定し、役員会に報告した。

2 評価・用語委員会報告

担当理事：佐浦隆一

委員長：根本明宜

委員：石合純夫，目谷浩通，太田喜久夫，水尻強志，泉 從道，殷 祥洙，大沢愛子

1. 委員会の開催

Web 版リハビリテーション医学用語事典の運用が始まるため，平成 22 年度から委員を 8 名に増員し，登録用語の査読などの業務を分担して対応した。委員会は 5 回開催したが，委員が多いので，会議費を節約するため，できるだけ学術総会，専門医会などの際に委員会を開催した。その他，委員会用掲示板や電子メールによる意見・情報交換を行った。

2. 活動内容

1) Web 版リハビリテーション医学用語事典の運用

リハビリテーション医学用語集第 7 版で用語が拡大され，編集作業が大変になったことや用語集の有効利用という観点からリハビリテーション医学用語集をオンライン事典に改訂し，平成 22 年度より Web 版リハビリテーション医学用語事典（略称，Web 版リハ用語事典）の運用を開始した。

今年度はシステム改修，内規，執筆要綱の整備など，実際に Web 版リハ用語事典の運用を行ううえで必要な作業を行った。また，平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災により，一部会員に認定単位の取得が困難な状況が生じたことから，認定委員会に平成 24 年度までの時限措置として，用語解説 1 語につき 5 単位，年間最大 20 単位の認定単位上限を年間最大 40 単位までに拡大することを依頼し承諾を得た。

Web 版リハ用語事典についての広報を精力的に行い，現在，700 語強の用語登録で運用している。将来の一般公開に向けての検討も行っている。

2) リハビリテーション医学用語集第 7 版の管理と活用

昨年度出版したリハビリテーション医学用語集第 7 版の改訂，用語に関する問い合わせへの対応，ホームページで公開している用語の修正を行った。また，第 7 版から作成した FEP 用の辞書の提供は継続している。

3) リハビリテーション医学用語の標準病名への登録依頼など

電子カルテで用いられる標準病名への追加は一段落したが，標準化を担当する MEDIS から用語についての相談を受けることが数件あり対応した。

4) 評価法データベース

リハ医学・医療における評価法の動向を知るため，

関連和・洋総合誌（7 雑誌）の投稿論文で用いられた各種評価法を抽出しデータベース化してきた。現在は 3 年毎に報告しているが，平成 23 年度はアップデート作業として平成 22 年 1 月～12 月に刊行された 7 雑誌を対象に委員で分担して調査を実施した。

これまでの調査の総括報告を目谷委員が担当し，学会誌「リハビリテーション医学」に投稿した。

5) 日本医学会用語委員会分科会としての活動

日本医学会用語委員会に参加した。また，日本医学会医学用語集 Web 版の使用が団体利用として正式に認められているので，日本医学会医学用語集 Web 版の利用について HP で広報している。

6) その他

リハニュース，学会 HP，学会誌で委員会活動について広報を行った。

3 教育委員会報告

担当理事：正門由久

委員長：芳賀信彦（病態別研修会小委員長 小林一成）

委員：池田 聡，石井雅之，大塚友吉，川上寿一，小林一成，高田信二郎，高橋博達，野々垣 学，羽田康司

年度内交代委員：岡島康友，豊倉 穰，寺岡史人

1. 委員会の開催

本年度は 6 回の委員会を開催した。

2. 活動内容

1) 病態別実践リハビリテーション医学研修会

会員のための研修会として，研修会小委員会の実務のもと，以下の 3 病態のリハビリテーション研修会を企画，開催した。

(a) 「骨関節障害」 9 月 10 日

於：大手町サンケイプラザ 受講者 91 名

(b) 「神経系障害」 10 月 15 日

於：大手町サンケイプラザ 受講者 109 名

(c) 「内部障害」 2 月 18 日

於：大手町サンケイプラザ 受講者 93 名

なお，参加費について検討し，本年度はこのままとするが，来年度に向けて再検討することになった。

2) 実習研修会

「第 4 回嚥下障害実習研修会」は震災で中止となった 3 月開催分の延期開催として行った。8 種類 9 回の実習研修会を共催した。

- (A) 第9回 小児のリハビリテーション実習研修会
9月8～10日
於 秋田県立医療療育センター 受講者 9名
- (B) 第15回 義手・義足適合判定医師研修会アドバンスト・コース 9月11～12日&10月17日
於 岡山国際交流センター & 岡山労働基準監督署 受講者 8名
- (C) 第14回 臨床筋電図・電気診断学入門講習会
10月1～2日
於 慶應義塾大学病院 受講者 36名
- (D) 第3回 職業リハビリテーション研修会
10月30～31日
於 岡山国際交流センター&吉備高原医療リハビリテーションセンター 受講者 11名
- (E) 第4回及び第5回嚥下障害実習研修会
9月24～25日&2月25～26日
於 浜松市リハビリテーション病院 受講者 第4回28名, 第5回28名
- (F) 第12回 脊損尿路管理研修会 12月3～4日
於 和歌山県立医科大学 受講者 14名
- (G) 第6回 福祉・地域リハビリテーション実習研修会 2月17～18日
於 横浜市総合リハビリテーションセンター 受講者 18名
- (H) 第5回 動作解析・運動学実習研修会
3月22～24日
於 藤田保健衛生大学 受講者 18名
- 3) 医学生・研修医リハビリテーションセミナー
- (1) 73施設より開催の申し出があり, 春期は11名, ゴールデンウィークは0名, 夏期は16名の参加があった。
- (2) 参加学生のあった施設にセミナーに関するアンケートを実施した。
- (3) 参加学生の感想文をリハニュースおよび学会ホームページに掲載した。
- (4) 平成24年開催に向けて全研修施設に開催の協力を募り, 82施設から協力の返事を得た。春期は52施設, ゴールデンウィークは25施設, 夏期は79施設での開催が可能である。
- 4) 専門医・認定臨床医 生涯教育研修会
- (1) 2-f, 2-gの講演の違いについて歴史的経緯を含めて検討し, 修正等を行わない方針とした。また, 2-f, 2-gの単位申請の締切を遅くする(4カ月前から3カ月前へ) ことに関する検討を開始した。
- (2) 地方会組織が担当する生涯教育研修会に関する内規・申し合わせの周知について議論した。
- (3) 全国回復期リハ病棟連絡協議会医師研修会を細則2)-c号に該当するものと認め, 理事会の承認を受けた。
- (4) 細則2)-e号に該当する関連学会, 研究会の申請6件の審査を行った。
- (5) 細則2)-f号に該当する研修会, 研究会等52件の審査を行った。
- 5) 一般医家に役立つリハビリテーション医療研修会について
- (1) 理事会よりの提案を受け, 本研修会の内容等について検討を行った。
- (2) 最終的に平成24年4月8日に大手町サンケイプラザで開催する方向で, 講師および内容を確定した。
- 6) 病態別実践リハビリテーション医学研修会 DVDについて
- (1) 病態別実践リハビリテーション医学研修会で作成したDVDの販売状況について検討し, メール等で理事, 評議員, 認定施設等に購入を勧める活動を行った。
- 7) リハビリテーション科医育成アクションプランに関連して
- (1) 専門医試験受験支援講座を企画し, 第48回日本リハビリテーション医学会学術集会の会期中に開催した。
- 8) 専門医制度に関連して
- (1) 指導責任者研修指定講演を第48回日本リハビリテーション医学会学術集会の会期中に開催した。本指定講演の今後の義務化について検討した。これと関連して, 指導責任者に対する研修教育(Faculty Development)の検討を進めた。
- (2) 昨年度作成した指導医マニュアル案に若干の修正を加えた。専門医制度対応WGや他学会の動向を見て整備を進める方針とした。
- 9) リハ医学講座アンケートと提言について
- (1) 常任理事会の要請で全国の大学医学部を対象にした「大学リハ講座設置の現況と推進」についてのアンケート案を実施し, 81施設中62施設から回答を得た。
- (2) アンケート結果を踏まえて, 「提言」案を作成した。

10) その他

- (1) 「リハビリテーション医学ガイド」(2010年1月にリハニュース特別号として発行)について、条件により現行の一部100円でなく無料で配布できるようにするなど、活用に関する検討を開始した。
- (2) リハ学会設立50周年記念事業の共催・協賛企画に関して検討した。

4 認定委員会報告

担当理事：浅見豊子

委員長：山口 淳

委員：浅野由美，小口和代，尾花正義 佐伯 覚，中島英樹，松本真以子，美津島 隆，横山 修

1. 委員会の開催

平成23年度は年7回の委員会を開催した。

2. 活動内容

1) 専門医の認定及び資格更新について

- (1) 専門医試験を実施し，専門医71名を認定した。
- (2) 専門医の資格更新審査を行い，155名（認定臨床医資格の繰上げ更新を含む同時更新：100名，専門医資格のみ更新：55名），延長11名，資格保留19名，資格喪失1名であった。現在の専門医数は1,854名（資格保留者を除く）である。
- (3) 専門医試験の受験要件から「筆頭著者である論文1篇」を撤廃した。
- (4) 不正行為対応として「専門医認定試験の実施に関する申し合わせ」を改定した。
- (5) 口頭試験官（特別委員）の候補者選定基準を検討した。

2) 認定臨床医の認定及び資格更新について

- (1) 認定臨床医試験を実施し，認定臨床医74名（研修施設での1年以上の研修による：48名，教育研修会・講演の受講と指導責任者の推薦による：26名）を認定した。
- (2) 認定臨床医の資格更新審査を行い，資格更新92名，延長15名，資格保留75名，資格喪失1名であった。現在の認定臨床医数は3,914名（資格保留者を除く）である。
- (3) 70歳以上の資格更新要件を検討した。
- 3) 指導責任者の認定及び資格更新について
 - (1) 指導責任者の申請を審査し，51名を認定した。
 - (2) 指導責任者の資格更新審査を行い，資格更新53名，延長7名であった。現在の指導責任者数は945

名（資格保留者を除く）である。

4) 研修施設の認定及び資格更新について

- (1) 研修施設の申請を審査し，33施設を認定した。
- (2) 研修施設の年次・更新調査を行い，適格505施設，保留2施設，不適格10施設であった。現在の研修施設数は517施設（資格保留施設を除く）である。
- (3) 研修施設Webシステムに一時保存機能及び上書き禁止機能を増設した。

5) その他

- (1) 「Web版リハ用語事典」執筆に対する生涯教育単位付与の見直しを行った。
- (2) 「専門医・認定臨床医試験Q & A」を公開した。
- (3) 「専門医口頭試験の例題と該当する研修カリキュラム項目」を公開した。
- (4) 東日本大震災に関わる特例措置として各種資格の更新猶予のための制度を設けた。

5 試験問題委員会報告

担当理事：出江紳一

委員長：和田 太

委員：岡崎英人，笠原 隆，佐藤新介，新藤恵一郎，田中一成，中馬孝容，八幡徹太郎，山中義崇，横井 剛

年度内交替委員：飯塚正之

1. 委員会の開催

本年度は7回の委員会を開催した。

2. 活動内容

- 1) 平成23年度日本リハビリテーション医学会専門医試験の問題150題を作成した。
- 2) 平成23年度日本リハビリテーション医学会専門医試験（平成24年3月1日に実施）に臨場した。
- 3) 平成23年度日本リハビリテーション医学会認定臨床医試験の問題100題を作成した。
- 4) 平成23年度日本リハビリテーション医学会認定臨床医試験（平成24年3月1日に実施）に臨場した。
- 5) 専門医試験問題の学会誌掲載を行った。

6 社会保険等委員会報告

担当理事：吉永勝訓，水落和也

委員長：川手信行

委員：赤星和人，稲川利光，大串 幹，近藤克則，近藤国嗣，木村浩彰，田中宏太佳，菅原英和，小山照幸，赤澤啓史，藤谷順子，森 英二

1. 委員会の開催

本年度は平成 23 年 5 月 6 日の委員会は震災の影響で中止し、7 月 1 日、9 月 2 日、11 月 1 日、平成 24 年 1 月 6 日、3 月 2 日、計 5 回の委員会を開催した。

2. 活動内容

1) 医療保険に関する活動

(1) 内保連関連

- ・例会、運営会議、呼吸器関連委員会、神経関連委員会、リハ関連委員会、検査関連委員会に委員が参加し意見を述べた。
- ・平成 24 年度診療報酬改定に向けたリハ関連診療報酬に関する会員の意見の集約を行い、内保連より未収載 3 項目、既収載 7 項目の提案書を提出し、リハ関連委員会を構成する他学会と共同で提出した。

(2) 外保連関連

- ・総会、実務委員会、処置委員会、検査委員会、麻酔委員会に委員が参加し意見を述べた。
- ・平成 24 年度診療報酬改定に向けたリハ関連診療報酬に関する会員の意見の集約を行い、外保連より未収載 4 項目を提出した。

(3) 厚生労働省ヒアリングに出席し、当学会の提案書についての基本的方針と他関連学会、団体との連携について説明し、意見を述べた。

(4) リハ医療関連 5 団体協議会（年 8 回開催）に出席し、平成 24 年度診療報酬改定に向けて意見交換、議論を行い、一部案件については共同提案を行った。

2) 介護保険に関する活動

リハ医療関連 5 団体協議会（年 8 回開催）において、平成 24 年度介護保険改定のリハ関連項目について議論し、意見調整を行い共同提案を行った。

3) がんのリハビリテーション研修会への協力

「がんのリハビリテーション研修会」を日本理学療法士協会・作業療法士協会・言語聴覚士協会・がん看護学会・リハ看護学会と共催で、平成 23 年 7 月 16・17 日（札幌）、10 月 17・18 日（広島）、12 月 17・18 日（東京）、平成 24 年 2 月 18・19 日（東京）に行った。

7 障害保健福祉委員会報告

担当理事：朝貝芳美

委員長：篠原裕治

委員：奥村元昭、大仲功一、大隈秀信、正岡 悟、

大野重雄、角田 亘

年度内交代委員：樫本 修、古澤一成、松坂誠應、武原 格

1. 委員会の開催

本年度は東日本大震災の影響で 1 回休止したため計 3 回の開催となった。4 月で 3 名、10 月に 1 名の委員交代があった。

2. 活動内容

1) 障害者自立支援法と障害児・者を取りまく関連制度等の検討

障害者自立支援法関連情報をリハニュースの委員会だよりで 2 回広報した。内容は 4 月号で、障害者自立支援法等整備に係る法律が成立：障がい者制度改革推進会議の一年の動き、1 月号で、障害者基本法の一部を、改正する法律が公布されました：改正の要点について、それぞれ広報を行った。

身体障害者手帳診断書作成と補装具意見書作成についてのリハビリテーション科医に対するアンケート質問項目を作成し、内容について検討を行った。平成 24 年度に web アンケートを予定している。

2) 社会参加推進のための障害者スポーツの検討

「障害者の体力評価ガイドライン策定委員会」に大隈委員が参加され、その進捗状況が報告された。脳卒中と脊髄損傷者の体力評価ガイドラインを検討中であり、平成 24 年度に完成させる。

「リハビリテーション科医に対する障害者スポーツに関する実態調査」の質問項目の検討を行った。現在 web アンケートにて障害者スポーツアンケートを実施中（4 月 30 日締切）である。

3) 地域リハビリテーションのあり方とリハビリテーション科医のあり方の検討

地域リハビリテーション広域支援センターに対するアンケート調査結果報告書を会誌（Jpn J Rehabil Med）Vol.48 No.9 に当委員会から報告した。

地域リハビリテーション広域支援センターの独自の・先駆的事業の内容を郵送によるアンケートにて調査を行った。結果をリハニュース上で広報し、地域リハビリテーション活動の啓蒙を行う予定である。

8 関連機器委員会報告

担当理事：水落和也

委員長：高橋紀代

委員：河村顕治、鈴木 禎、橋爪紀子、福田寛二

年度内交替委員：市江雅芳，古川 宏（特別委員）

1. 委員会の開催

本年度は3回の委員会を開催した。

2. 活動内容

- 1) 関連機器データベース作成を目標に，リハビリテーション関連機器・福祉機器分類案の骨子を作成した。全委員が，リハビリテーション関連機器，または福祉機器のどちらかのワーキンググループに属し，分類案作成作業を行った。第3回の委員会では，全員でそれぞれのグループが作成した分類案を検討し，リハビリテーション関連機器・福祉機器分類案の骨子を仕上げた。当委員会の分類は独自の分類とし，JIS・TAISのコードは参考として用いた。義肢装具部門はJIST 0101改訂の動き（義肢装具学会，テクノエイド協会などが中心）があるため，情報収集が必要である。JIS改訂作業には当委員会からも作業に加わるなど積極的な対応も検討すべきではないかとの意見があり，今後の継続課題となった。
- 2) リハビリテーション医学会50周年記念事業企画案を作成し，採用された。今後，詳細について委員会で審議し，平成25年もしくは26年に基調講演，シンポジウム，展示などを企画運営する予定である。

9 関連専門職委員会報告

担当理事：朝貝芳美

委員長：渡部一郎

委員：堀田富士子，武居光雄，田中尚文，萩野 浩

1. 委員会の開催

本年度は年2回の委員会を予定したが，震災後の交通事情で4月8日を中止し，平成24年1月13日に1回開催した。

2. 活動内容

- 1) 関連専門職教育に関するリハ専門医の役割についてのアンケート調査報告をした。

「関連専門職養成校におけるリハビリテーション科専門医不足の実態，Jpn J Rehabil Med 2011；48（7）：472-477」

- 2) 第38理学療法士・作業療法士養成施設等教員講習会の開催

厚生労働省と医療研修推進財団との共催の上記講習会（東京地区と大阪地区2箇所で開催）を運営委員長・議長として運営した。

4月8日，9月9日 医療推進財団（東京にて）

- 3) 特定看護師について，武居委員を中心に情報収集・意見交換をした。

10 会則検討委員会報告

担当理事：椿原彰夫

委員長：伊勢真樹

委員：猪飼哲夫，梅津祐一，近藤和泉，関 勝

1. 委員会の開催

本年度はメールによる審議として8回の委員会を開催した。

2. 活動内容

- 1) 5件の各委員会の会則の整合性の検討を「会則に関する取り決め」に従い，メールによる審議を行い，各委員会および理事会へ回答した。
- 2) 3名の医師以外正会員の入会審査を当該内規に従い，メールによる審議を行い，理事会へ推薦した。
- 3) 選挙の在り方に関する検討委員会に会則検討委員会も加わり，「新役員の選任に関する内規」の検討をメールにより審議し，委員会へ回答した。

11 広報委員会報告

担当理事：菅 俊光

委員長：阿部和夫

委員：安部基幸，伊藤倫之，緒方敦子，数田俊成，長谷川千恵子，佐々木信幸

1. 委員会の開催

委員会を3回開催した（2011.7.15，10.7，2012.1.13）

また，2011.4.15に予定をしていた委員会は，「東日本大震災」のため中止し，メール審議による委員会を行った。

2. 活動内容

- 1) リハニュースの発行

（1）49号（2011.4.15：東日本大震災），50号（7.15：東日本大震災—被災地からのレポート—），51号（10.15：日本リハビリテーション医学会 設立50周年記念座談会），52号（2012.1.15：専門医制度—現状・問題点・今後のあり方—）を発行した。

（2）リハ医育成アクションプランを意識して，51号では，各地方の最前線で活躍する若手リハビリテーション医師とベテランの先生による座談会を行った。また，歴代理事長による座談会も行い，これまでのリハビリテーション医学会を振り返った。

(3) 特別編集とした44号については、リハ医育成アクションプランに準拠し、医学生・研修医に向けたパンフレットとして利用できるように内容の更新を行い、「リハビリテーション医学ガイド」として改訂をした。今後は、あらたなパンフレットを作成する予定である。

2) ホームページ運用

(1) 新規/修正あわせて92件に対応した(2012.2.20現在)。これは、昨年度の同時期に比較して約1割増加している。

(2) トップページから「東日本大震災リハ支援関連情報」へアクセスできるようにした。

(3) 一般医家向け研修会の案内をするためトップページを変更した。今後も、利便性を考えてのホームページの改訂およびiPad/smartphone向けコンテンツの作成を行う。

3) その他

(1) 広報パンフレットとして「リハビリテーション医学ガイド」を改訂した。

12 国際委員会報告

担当理事：才藤栄一

委員長：志波直人

委員：青木隆明，池田 聡，花山耕三，松永秀樹

1. 委員会の開催

本年度は年2回の委員会を開催した。

2. 活動内容

1) 平成23年度海外研修助成プログラムの実施

梗間 剛先生，沢田光思郎先生，新藤恵一郎先生，岡崎英人先生，以上4名の研修を助成し，平成23年度内に海外研修(学会発表・施設訪問)が実施された。また，海外研修助成制度申し合わせの改正として，1. 複数回の応募を禁止する旨明記，2. 医師以外のお募集についてはその都度審査して対応，の2点を実施。

2) 平成23年度外国人リハ医師短期交流助成プログラムの実施

本年度は大震災の影響で応募者はなかった。メルマガとして，名誉会員，役員，評議員へメール配信する。H/Cメンバーへannual reportでお知らせする。応募にかかる英文ホームページのup date実施。

3) Honorary/Corresponding Member との連携体制

里宇理事長より，5月にH/Cメンバーに震災に関するメッセージ送付。Honorary/Corresponding Member

は，学会終了後に英文の本学会の年間活動報告し(総会資料抜粋)，12月にグリーティングカードおよび記念品を送付した。

4) Honorary/Corresponding Member の拡充

欧米やアジア地域のリハ医学会とその指導者の情報を集め，Honorary/Corresponding Member 候補の探索を行った。平澤名誉会員より，中国の李健軍先生(China Rehabilitation Research Center)のCorresponding Member への推薦あり，委員会承認，理事会へ上程。

5) アジア・オセアニア地区リハビリテーション医学会議(AOCPRM)

平成24年度，第3回(2012年5月20～23日)バリ島で開催予定。特別助成を実施する予定。

6) 日韓合同カンファレンスについて

韓国側が持ち帰って協議中であるが，その後の進展はなし。

7) その他

(1) 日本リハビリテーション医学会認定臨床医，リハビリテーション科専門医の，国際的目的で使用する英文の資格証明書と役職証明書の作成を実施。

(2) 50周年記念事業の案を作成

①シンポジウム：海外研修助成制度を受けたりハ医から

②国際シンポジウム：海外リハ交流医受け入れ制度で来日したアジアのリハ医たち

③特別講演：JARMの未来，国際貢献，海外からの期待と役割 演者：Jeffrey R. Basford (Mayo Clinic PM&R)

(3) 国際委員会としての業務内容の確認と，広報委員会と共同で，英文ホームページを作成しているが，海外リハビリテーション医師交流制度に関する内容の充実など随時必要な更新を行い，海外会員への情報発信を行うなど，今後も引き続き，未だ不十分な現在の内容を見直して，刷新する。

13 診療ガイドライン委員会報告

担当理事：生駒一憲

委員長：辻 哲也

コア委員：藤原俊之，高橋秀寿，上月正博，古澤一成，花山耕三

1. 委員会の開催

計28回の委員会を開催した(診療ガイドラインコア委員会4回，脳卒中治療ガイドライン策定委員会2

回、脳性麻痺リハビリテーションガイドライン策定委員会2回、リハビリテーション連携パス策定委員会3回、障害者体力評価ガイドライン策定委員会6回、神経筋疾患・脊髄損傷の呼吸リハビリテーションガイドライン策定委員会2回、がんのリハビリテーション策定委員会9回、電子会議も含む。

2. 活動内容

1) 診療ガイドラインコア委員会

各策定委員会から50周年カウントダウン企画案を募集し、現在作成中で今後5年以内に完成が見込まれる診療ガイドライン（脳性麻痺、神経筋・呼吸、体力評価、がんのリハ）を本学会のカウントダウン企画と位置づけることとした。また、脳卒中治療ガイドライン策定委員会、脳性麻痺リハビリテーションガイドライン策定委員会およびがんのリハビリテーション策定委員会から企画案が提出された。

2) 脳卒中治療ガイドライン策定委員会

中馬孝容委員長、越智文雄委員が退任し、児玉三彦委員、美津島隆委員が新委員となった。互選により、藤原俊之委員が新委員長に選任された。

現在、ガイドライン2009出版後に発表された2008年～2010年の3年間の文献およびエビデンステーブルの確認作業を実施中。ガイドライン2009出版後のパブリックコメントにおいて本学会会員から寄せられた意見は、次回の改定版に反映させる予定。

脳卒中ガイドライン合同委員会の今後について、リハ医学会としては5学会合同の体制は維持してガイドラインを作成し、特にリハビリテーションの章に関してはリハ医学会が担当することを主張していくことが合意された。

3) 脳性麻痺リハビリテーションガイドライン策定委員会

ガイドライン第2版の作成に向け作業実施中。リサーチクエストの検討を行い、78項目（うち新項目34項目）が決定した。一次検索、二次検索は終了し、構造化抄録作成中。今後の予定は、平成24年6月までに構造化抄録完成、8月までに本文案（推奨レベルとエビデンス）完成、10月～12月でパブリックコメントの後、平成25年1月に原稿完成、6月の第50回記念大会で出版の予定。

4) 呼吸リハビリテーションガイドライン策定委員会

呼吸リハビリテーションガイドライン第2版作成に向け、活動を再開する予定。

5) リハビリテーション連携パス策定委員会

高橋博達委員、正門由久委員、山田深委員が退任となり、数田俊成委員、川上純範委員、橋本茂樹委員、藤本俊一郎委員が専任された。

本委員会の今後について議論を行い、急性期・回復期と維持期との連携を促進していくための方策に焦点をあてて活動を進めていく方向性が確認された。

6) 障害者体力評価ガイドライン策定委員会

ガイドラインの作成に向けて脊髄損傷と脳血管障害のグループに分かれて作業実施中。現在、一次検索、二次検索は終了し、構造化抄録作成中。今後の予定は、平成24年前半までに本文案（推奨レベルとエビデンス）を完成し、後半に推奨レベル等の全体の見直しや調整を行う予定。

7) 神経筋疾患・脊髄損傷の呼吸リハビリテーションガイドライン策定委員会

ガイドラインの作成に向けて作業実施中。現在、総論部分の一次検索、二次検索（文献取り寄せ）、構造化抄録の作成は概ね終了し、本文案（推奨レベルとエビデンス）作成中。今後の予定は、平成24年4月までに本文の素案を完成予定。

8) がんのリハビリテーションガイドライン策定委員会

平成22～24年度厚生労働科学研究補助金（第3次対がん総合戦略研究事業）「がんのリハビリテーションガイドライン作成のためのシステム構築に関する研究（主任研究者 辻哲也）」として、ガイドラインの作成に向けて作業実施中。現在、一次検索、二次検索、構造化抄録作成は終了、本文案（推奨レベルとエビデンス）の作成、見直し中。平成24年4月で本文案完成し、外部評価をリハ学会員、がん治療学会ガイドライン評価委員会および造血幹細胞移植学会とから受ける予定。平成24年秋までに原稿完成予定。

活動の一環として本策定委員会委員、関連学協会から推薦された委員から構成されたがんのリハビリテーショングランドビジョン作成ワーキンググループが活動中。平成24年3月までにグランドデザインの素案を完成予定。また、活動の一環として平成24年1月14日に大阪医科大学にて、がんのリハビリテーション懇話会を開催、全国から300名余りの参加者があった。本懇話会は50周年記念事業のカウントダウン企画として承認されている。

9) 大規模災害対応リハビリテーションマニュアル策定委員会設立の件

東日本大震災リハビリテーション支援関連 10 団体では、今後の大規模災害に多職種が連携して対応できるような基盤をつくるために、合同で「大規模災害対応リハビリテーションマニュアル」（仮称）を策定・出版することを決定した。本医学会里宇理事長がワーキンググループ委員長となり作業中である。そこで、本策定委員会を立ち上げ、10 団体の動きと連動してマニュアルづくりを進めている。ミッションは、マニュアル全体の構成とマニュアル自体の peer review、分担項目の執筆を実施することである。

14 システム委員会報告

担当理事：菅 俊光

委員長：船越政範

委員：佐伯 覚、青柳陽一郎、伊藤倫之、羽田康司、横山 修

特別委員：園田 茂、山田 深、飛松好子、松嶋康之

1. 委員会の開催

委員会をインターネット会議として 5 回開催した（2011.3.14-4.13, 4.22-7.16, 7.19-11.18, 11.21-2012.1-23, 2.10-3.9）。

2. 活動内容

1) システムの改良

アンケート等に利用する、自由に項目を設定したフォームを作成し、WEB 上でデータを受け付ける汎用フォーム（アンケートシステム）導入に向けて検討を継続した。電磁的方法による選挙に関するシステムの面からの検討を開始した。

2) システム運営

システムに関する機能調整を各委員会と行った。専門医会の 4 つ（基礎・切断・脊損・ポストポリオ）の SIG コアメンバー用と SIG 全メンバー用の二つの掲示板をメンバー内の書き込みメール転送機能つきで作成した。専門医会 SIG 参加登録受付のための登録情報欄の改修を行った。東日本大震災リハ支援関連情報サイトを立ち上げた。掲示板のガイドライン遵守について確認を行った。

3) システムの普及活動

第 49 回学術集会の演題登録においても、会員用 Web システムのトップページ（お知らせ欄）を経由して行う仕組みにしてもらい、会員のシステム登録を

促した。

4) システム登録者数

平成 24 年 3 月 31 日現在、5,089 名である。

15 専門医会報告

担当理事：上月正博

幹事長：菊地尚久

副幹事長：近藤和泉、佐伯 覚

幹事：青柳陽一郎、池田 聡、石合純夫、大串幹、大田哲生、笠井史人、八幡徹太郎

1. 総会、学術集会、幹事会の開催

本年度は総会 1 回（定例 1 回）、学術集会 1 回、幹事会 4 回を開催した。その他、幹事会専用掲示板にて議論、情報交換等を行った。

2. 活動内容および報告

1) 総会（平成 23 年 12 月）

平成 23 年 12 月 10 日の第 6 回リハビリテーション科専門医会学術集会中に神戸国際会議場メインホールにて定例総会を開催した。議題は①今年度の現在までの専門医会活動報告、②第 7 回リハビリテーション科専門医会学術集会準備状況、③第 8 回リハビリテーション科専門医会学術集会進行状況、④ RJN 活動報告、⑤小児リハ SIG、基礎研究 SIG、脊髄障害リハ SIG、切断・義肢リハ SIG、ポリオ後症候群 SIG の活動報告、⑥リハ医療に必要な電子カルテ機能に関する WG 活動報告、⑦専門医間の交流会活動、⑧第 49 回年次学術集会における専門医会企画、⑨専門医会研究補助金助成対象者募集、⑩リハ科専門医に必要な手技に関するハンズオンセミナー活動計画であった。

2) 幹事会

平成 23 年 6 月 3 日に毎日新聞ビルオーバルホール（大阪）にて第 1 回幹事会を開催した。議題は①第 6 回リハビリテーション科専門医会学術集会進行状況、②第 7 回リハビリテーション科専門医会学術集会進行状況、③第 8 回リハビリテーション科専門医会学術集会進行状況、④代表世話人が転勤した場合の専門医会学術集会開催地に関して、⑤ RJN 活動報告、⑥小児リハ SIG、基礎研究 SIG 活動報告、⑦脊髄障害 SIG、切断・義肢 SIG、ポリオ後症候群 SIG の活動計画、⑧専門医としての学生・初期研修医に対する教育・広報活動、⑨リハ科専門医の教育体制と社会的ニーズに関する調査の活動計画、⑩リハ医療に必要な電子カルテ機能に関する WG 活動報告、⑪第 48 回年次学術集会

における専門医会企画，⑫専門医間の交流促進の活動計画，⑬リハ専門医に必要な手技に関するハンズオンセミナー活動計画，⑭学会データベースの活用，⑮50周年事業への協力，⑯専門医・指導責任者に関する提言であった。

平成23年10月1日に東京八重洲倶楽部にて第2回幹事会を開催した。議題は①第6回リハビリテーション科専門医会学術集会進行状況，②平成23年度専門医会総会について，③第7回リハビリテーション科専門医会学術集会進行状況，④第8回リハビリテーション科専門医会学術集会進行状況，⑤RJN活動報告，⑥SIG掲示板およびweb会員ページSIG参加登録システム作成，⑦小児リハSIG，基礎研究SIG活動報告⑧脊髄障害SIG，切断・義肢SIG，ポリオ後症候群SIGの活動計画，⑨リハ科専門医の教育体制と社会的ニーズに関する調査の活動計画，⑩リハ医療に必要な電子カルテ機能に関するWG活動報告，⑪第49回年次学術集会における専門医会企画，⑫専門医間の交流会活動，⑬リハ科専門医に必要な手技に関するハンズオンセミナー活動計画，⑭50周年事業への協力，⑮専門医制度対応WGへの協力，⑯データマネジメント特別委員会からの依頼であった。

平成23年12月10日(土)に神戸国際会議場会議室にて第3回幹事会を開催した。議題は①来年度の活動計画，予算案について，②第7回リハビリテーション科専門医会学術集会準備状況，③第8回リハビリテーション科専門医会学術集会進行状況，④RJN活動報告，⑤SIG掲示板およびweb会員ページSIG参加登録システム作成，⑥各SIG活動報告(小児リハ，基礎研究，脊髄障害，切断・義肢，ポリオ後症候群)，⑦リハ科専門医の教育体制と社会的ニーズに関する調査の活動計画，⑧リハ医療に必要な電子カルテ機能に関するWG活動報告，⑨第49回年次学術集会における専門医会企画，⑩専門医間の交流会活動，⑪リハ科専門医に必要な手技に関するハンズオンセミナー活動計画，⑫50周年事業への協力，⑬データマネジメント特別委員会からの依頼であった。

平成24年2月5日に日本リハビリテーション医学学会事務局にて第4回幹事会を開催した。議題は①来年度の活動計画，予算案について，②第7回リハビリテーション科専門医会学術集会準備状況，③第8回リハビリテーション科専門医会学術集会進行状況，④第9回リハビリテーション科専門医会学術集会代表世話

人について，⑤RJN活動報告，⑥SIG掲示板に関して，⑦各SIG活動報告(小児リハ，基礎研究，脊髄障害，切断・義肢，ポリオ後症候群)，⑧痙縮治療SIGの進捗状況，⑨リハ医療に必要な電子カルテ機能に関するWG活動報告，⑩第49回年次学術集会における専門医会企画，⑪専門医間の交流会活動，⑫専門医会実技研修支援，⑬50周年事業への協力，⑭次回専門医会幹事選挙に関して，⑮専門医会研究補助金申請者採点結果であった。

3) 第6回専門医会学術集会の開催

上述した総会，幹事会とともに，平成23年12月10日，11日に神戸国際会議場にて第6回専門医会学術集会が菅俊光代表世話人により開催され，盛会のうちに閉会した。

■ 審議事項

I. 理事及び監事の選任について

選挙管理委員長から，理事及び監事の選挙の結果について報告説明があり(理事20名，監事3名)，承認された。

(理事)

赤居正美，朝貝芳美，浅見豊子，安保雅博，生駒一憲
石合純夫，石川 誠，出江紳一，川平和美，上月正博
才藤栄一，佐浦隆一，志波直人，白倉賢二，田島文博
椿原彰夫，芳賀信彦，正門由久，水落和也，水間正澄
(監事)

木村彰男，久保俊一，住田幹男

II. 平成23年度事業報告及び収支決算報告

平成23年度事業報告について，庶務担当の赤居副理事長から説明が行われ，原案どおり承認された。

次に，平成23年度収支決算報告について，財務担当の上月副理事長から説明が行われ，引き続き住田監事，木村監事から，平成23年度の業務執行及び財産の状況に係る監査を実施した結果，適正に処理されていると認める旨の報告が行われ，原案どおり承認された。(表1～5)

平成 23 年度 事業報告

(平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで)

1. 会員現況

	平成 24 年 3 月 31 日	平成 23 年 3 月 31 日	増 減
会員総数	9,765 名	9,687 名	78 名
医 師	9,574 名	9,492 名	82 名
医師以外	191 名	195 名	△ 4 名

(名誉会員含)

新入会 509 名

退 会 431 名

物故会員 (敬称略)

野口 雄之, 熊野 修, 阿部 哲朗, 小野 勝之,
小助川 治, 入部 俊一郎, 大野 敦也, 向畑 良作,
小島 英明, 池田 一郎, 木戸 碩夫, 草部 拓造,
岸 常規, 伊藤 泰雄, 進藤 和行, 瀬口 喬士,
比企 亮介, 藤田 武, 新野 徳, 岡田 弘,
芳賀 敏彦, 須賀 哲夫, 岩田 千男

2. 役員, 評議員, 各種委員会委員

役 員: 理事長 1 名, 常任理事 3 名, 理事 12 名, 監事 2 名, 幹事 4 名

評議員: 193 名

各種委員会委員: 編集委員会 10 名, 評価・用語委員会 8 名, 教育委員会 10 名, 認定委員会 9 名, 試験問題委員会 10 名, 社会保険等委員会 13 名, 障害保健福祉委員会 7 名, 関連機器委員会 7 名, 関連専門職委員会 5 名, 会則検討委員会 5 名, 広報委員会 7 名, 国際委員会 5 名, 診療ガイドライン委員会 6 名, システム委員会 6 名

3. 学術集会の開催について

1) 第 48 回日本リハビリテーション医学会学術集会を, 平成 23 年 11 月 2 日, 3 日の 2 日間, 幕張メッセに於いて開催した。

2) 第 6 回専門医会学術集会を, 平成 23 年 12 月 10 日, 11 日の 2 日間, 神戸国際会議場に於いて開催した。

4. 諸会議

1) 通常総会の開催: 平成 23 年 6 月 3 日

2) 評議員会の開催: 平成 23 年 6 月 3 日

3) 理事会の開催: 臨 時 平成 23 年 4 月 9 日

第 1 回 平成 23 年 4 月 23 日

第 2 回 平成 23 年 6 月 3 日

第 3 回 平成 23 年 7 月 23 日

第 4 回 平成 23 年 9 月 17 日

第 5 回 平成 23 年 11 月 26 日

第 6 回 平成 24 年 1 月 28 日

第 7 回 平成 24 年 3 月 17 日

4) 地方会総会・学術集会の開催

(1) 北海道地方会

○第 23 回北海道地方会

開催日 平成 23 年 4 月 24 日

開催場所 札幌医科大学記念ホール

出席者数 62 名

○第 24 回北海道地方会

開催日 平成 23 年 10 月 22 日

開催場所 北海道大学医学部学友会館フラテ

出席者数 53 名

(2) 東北地方会

○第 30 回東北地方会

開催日 平成 23 年 9 月 24 日

開催場所 秋田県総合保健センター 2 階大会議室

出席者数 79 名

○第 31 回東北地方会

開催日 平成 24 年 3 月 4 日

開催場所 宮城県教育会館 フォレスト仙台 2 階
ホール

出席者数 110 名

(3) 関東地方会

○第 49 回関東地方会学術集会

開催日 平成 23 年 9 月 10 日

開催場所 東京大学山上会館

出席者数 264 名

○第 50 回関東地方会学術集会

開催日 平成 23 年 12 月 3 日

開催場所 帝京大学新本部棟 2 階臨床大講堂

出席者数 150 名

○第 51 回関東地方会学術集会

開催日 平成 24 年 3 月 24 日

開催場所 埼玉県県民健康センター 2 階大ホール

出席者数 144 名

(4) 北陸地方会

○第 30 回北陸地方会総会

開催日 平成 23 年 9 月 24 日

開催場所 ホテル金沢

出席者数 56 名

○第31回北陸地方会総会

開催日 平成24年3月24日
開催場所 金沢大学病院十全講堂
出席者数 56名

(5) 中部・東海地方会

○第29回中部・東海地方会

開催日 平成23年8月27日
開催場所 大正製薬名古屋支店
出席者数 84名

○第30回中部・東海地方会

開催日 平成24年2月4日
開催場所 大正製薬名古屋支店
出席者数 84名

(6) 近畿地方会

○第31回近畿地方会学術集会

開催日 平成23年9月17日
開催場所 中外製薬大阪支店会議室
出席者数 221名

○第32回近畿地方会学術集会

開催日 平成24年3月10日
開催場所 奈良県立医科大学厳樞会館
出席者数 90名

(7) 中国・四国地方会

○第27回中国・四国地方会総会

開催日 平成23年6月26日
開催場所 徳島大学医学部臨床第1及び第2講堂
出席者数 121名

○第28回中国・四国地方会総会

開催日 平成22年12月4日
開催場所 岡山コンベンションセンターレセプションホール
出席者数 129名

(8) 九州地方会

○第30回九州地方会

開催日 平成23年9月4日
開催場所 九州大学医学部百年講堂大ホール
出席者数 343名

○第31回九州地方会

開催日 平成24年2月19日
開催場所 くまもと森都心プラザホール
出席者数 180名

5) 専門医会

①専門医会学術集会を1回開催した。

②専門医会総会（定例1回）と幹事会を4回開催した。また、幹事会専用掲示板で、議論、情報交換等を行った。

6) 地方会連絡協議会

①地方会組織における生涯教育研修会の実施に関する申し合わせについて、②地方会事務局運営費補助金の支出項目について、③地方会学術集会における主催地方会以外からの演題発表について、④地方会における会員以外の発表について、⑤選挙結果の公表について、⑥公益社団法人認定後の地方会の運営について検討を行った。

7) 各種委員会の開催

- | | |
|---------------|-------------------------|
| ① 編集委員会 | 6回 |
| ② 評価・用語委員会 | 5回（メール審議含む） |
| ③ 教育委員会 | 6回 |
| ④ 認定委員会 | 7回 |
| ⑤ 試験問題委員会 | 7回 |
| ⑥ 社会保険等委員会 | 5回 |
| ⑦ 障害保健福祉委員会 | 3回 |
| ⑧ 関連機器委員会 | 3回 |
| ⑨ 関連専門職委員会 | 1回 |
| ⑩ 会則検討委員会 | 8回（全てメール審議） |
| ⑪ 広報委員会 | 4回（メール審議含む） |
| ⑫ 国際委員会 | 3回（メール審議含む） |
| ⑬ 診療ガイドライン委員会 | 28回
（各策定委員会、メール審議含む） |
| ⑭ システム委員会 | 5回（全てメール審議） |

8) データマネジメント特別委員会

平成23年11月に本医学会、理学療法士協会、作業療法士協会及び言語聴覚士協会の4機関による第1回共通症例データベース構築合同委員会を開催し、共同運用の課題及び今後のデータベース構築について検討し、平成24年2月に第2回共通症例データベース構築合同委員会を開催し、各機関の負担金、二次利用の規定及び事務局の設置等について検討した。

9) 50周年記念事業実行委員会

平成23年度は実行委員会を4回開催し、今後5年間の記念事業関係の年次計画・予算措置及び50周年記念事業の共催・協賛企画の第一次募集を行い、事業の具体化に向け検討した。

10) ワーキンググループ

①選挙の在り方に関する検討委員会

平成23年度2回開催し、代議員選挙関係、理事、

▶表 1

貸 借 対 照 表

(平成24年 3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	9,006,659	8,238,751	767,908
前払金	3,653,000	5,000,000	△ 1,347,000
前払費用	22,665	22,665	0
未収金	969,255	2,364,535	△ 1,395,280
流動資産合計	13,651,579	15,625,951	△ 1,974,372
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	100,000,000	100,000,000	0
基本財産合計	100,000,000	100,000,000	0
(2) 特定資産			
学術研究助成資産	60,000,000	80,000,000	△ 20,000,000
学術集會事業積立資産	10,000,000	10,000,000	0
退職給付引当資産	4,791,525	3,558,180	1,233,345
特定資産合計	74,791,525	93,558,180	△ 18,766,655
(3) その他固定資産			
ソフトウェア	2,580,165	4,946,445	△ 2,366,280
保証金	1,050,000	1,050,000	0
その他固定資産合計	3,630,165	5,996,445	△ 2,366,280
固定資産合計	178,421,690	199,554,625	△ 21,132,935
資 産 合 計	192,073,269	215,180,576	△ 23,107,307
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	3,732,728	2,305,504	1,427,224
預り金	655,802	431,140	224,662
未払住民税	70,000	70,000	0
未払消費税等	387,800	0	387,800
流動負債合計	4,846,330	2,806,644	2,039,686
2. 固定負債			
退職給付引当金	4,791,525	3,558,180	1,233,345
固定負債合計	4,791,525	3,558,180	1,233,345
負債合計	9,637,855	6,364,824	3,273,031
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産	182,435,414	208,815,752	△ 26,380,338
(うち基本財産への充当額)	(100,000,000)	(100,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(70,000,000)	(90,000,000)	(20,000,000)
正味財産合計	182,435,414	208,815,752	△ 26,380,338
負債及び正味財産合計	192,073,269	215,180,576	△ 23,107,307

監事の議決、理事長、副理事長の選挙方法及び電
磁的方法等による役員候補者選挙実施の可能性に
ついて検討を行った。

②専門医制度改革対応 WG

平成 23 年年度 5 回開催し、新専門医制度に対す
る対応の実務的課題について検討を行った。

5. 辞令発送について

理事長名で辞令発送

各種委員会委員（特別委員等を含む） 124 名

6. 後援、協賛等依頼

1) 第 26 回生体・生理工学シンポジウム

(公益社団法人計測自動制御学会)

協賛

2) 第 38 回国際福祉機器展 H.C.R.2011

(全国社会福祉協議会、保健福祉広報協会)

協賛

3) 義肢装具 SIG 第 7 回講習会

(日本リハビリテーション工学協会)

協賛

4) 平成 23 年度義肢装具等適合判定医師研修会

(厚生労働省)

後援

- 5) 古川宇宙飛行士との交信イベント
【重力とともに生きる】～宇宙飛行士との対話を
通して健康について考える
(独立行政法人宇宙航空研究開発機構) 後援
 - 6) ヒューマンインターフェースシンポジウム 2011
(特定非営利活動法人ヒューマンインターフェ
ース学会) 協賛
 - 7) 平成 23 年度運動療法機能訓練技能講習会
(社団法人全国病院理学療法協会) 後援
 - 8) 第 46 回日本作業療法学会
(社団法人日本作業療法士協会) 後援
 - 9) HOSPEX JAPAN 2011 (第 40 回日本医療福祉
設備学会併設)
(一般社団法人日本医療福祉設備協会, 社団法人
日本能率協会) 協賛
 - 10) SIG「姿勢保持」講習会 2011
(日本リハビリテーション工学協会 SIG「姿勢
保持」) 協賛
 - 11) 第 26 回リハ工学カンファレンス
(一般社団法人日本リハビリテーション工学協会)
協賛
 - 12) 第 46 回日本理学療法士協会全国学術研修大会
(社団法人日本理学療法士協会) 後援
 - 13) 障害者医療問題全国ネットワーク第 9 回シンポ
ジウム
(障害者医療問題全国ネットワーク) 後援
 - 14) きょうされん第 34 回全国大会 in しが
(きょうされん) 後援
 - 15) シンポジウム「モバイル 12」
(特定非営利活動法人モバイル学会) 協賛
 - 16) 第 1 回がんのリハビリテーション懇話会
(がんのリハビリテーショングラウンドビジョン作
成ワーキンググループ, 厚生労働省研究費補助
金(第 3 次対がん総合戦略研究事業)がんのリ
ハビリテーションガイドライン作成のためのシ
ステム構築に関する研究) 後援
 - 17) 2011 (平成 23) 年度てんかんを正しく理解す
る月間(てんかん月間 2011)
(社団法人日本てんかん協会) 協賛
 - 18) 日本人間工学会関東支部第 41 回大会
(日本人間工学会関東支部) 協賛
 - 19) 第 61 回日本理学療法学会
(社団法人全国病院理学療法協会) 後援
 - 20) 日本人間工学会第 53 回大会
(一般社団法人日本人間工学会) 協賛
 - 21) 希望ある健康高齢化社会の実現に向けて
第 2 回「予防医療・介護・リハビリテーション科
学・技術に関わる高度事業化」講演会
(財団法人京都高度技術研究所) 後援
 - 22) 第 2 回日本ボバース研究会学術大会
(一般社団法人日本ボバース研究会) 後援
 - 23) 第 47 回日本理学療法学術大会
(社団法人日本理学療法士協会) 後援
 - 24) 第 47 回日本理学療法士協会全国学術研修大会
(社団法人日本理学療法士協会) 後援
 - 25) 第 28 回日本義肢装具学会学術大会
(日本義肢装具学会) 協賛
 - 26) 第 27 回生体・生理工学シンポジウム
(公益社団法人計測自動制御学会) 協賛
 - 27) 第 33 回バイオメカニズム学術講演会
(バイオメカニズム学会) 協賛
 - 28) 社団法人日本リウマチ友の会第 52 回全国大会
(社団法人日本リウマチ友の会) 後援
 - 29) 生体医工学シンポジウム 2012
(社団法人日本生体医工学会) 協賛
 - 30) 第 3 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会
(一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会)
後援
 - 31) 全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会
平成 24 年度医師研修会
(全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会)
後援
- 7. 会誌の発行**
会誌「The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine」
第 48 巻第 4 号～第 12 号, 特別号(抄録集), 第 49 巻
第 1 号～第 3 号, 計 13 冊を発行した。
- 8. リハニュースの発行**
年 4 回発行した。(平成 23 年 4 月から第 49 号～第
52 号まで)
- 9. ホームページの管理・運営**
1) 新規/修正あわせて 92 件に対応した。(2.20 現
在) これは, 昨年度の同時期に比較して約 1 割
増加している。
2) トップページから「東日本大震災リハ支援関連
情報」へアクセスできるようにした。
3) 一般医家向け研修会の案内をするためトップ

▶表 2

正味財産増減計算書

(平成23年 4 月 1 日から平成24年 3 月31日まで)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
Ⅰ. 一般正味財産増減の部			
Ⅰ. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取会費	118,200,000	116,148,000	2,052,000
正会員受取会費	118,200,000	116,148,000	2,052,000
② 事業収益	114,258,948	127,844,228	△ 13,585,280
学術集会事業収益	65,455,906	76,374,184	△ 10,918,278
会誌等発行事業収益	10,370,252	13,517,044	△ 3,146,792
専門医等認定事業収益	13,530,000	17,730,000	△ 4,200,000
研修会事業収益	6,213,000	11,302,000	△ 5,089,000
専門医会収益	14,330,190	8,921,000	5,409,190
③ 基本財産運用益	418,605	479,999	△ 61,394
基本財産受取利息	399,999	399,999	0
学術研究助成基金受取利息	18,606	80,000	△ 61,394
④ 受取補助金等	2,574,400	13,632,550	0
受取国庫補助金	0	13,337,000	△ 13,337,000
受取民間助成金	298,400	295,550	2,850
受取寄附金	2,276,000	0	2,276,000
⑤ 雑収益	306,972	1,036,479	△ 729,507
受取利息	11,722	28,864	△ 17,142
雑収益	295,250	1,007,615	△ 712,365
経常収益計	235,758,925	259,141,256	△ 12,324,181
(2) 経常費用			
① 事業費	176,936,297	206,808,401	△ 29,872,104
学術集会事業費	64,069,618	75,702,615	△ 11,632,997
抄録集作成費	5,031,797	4,722,684	309,113
会誌発行費	33,756,139	37,214,418	△ 3,458,279
リハニュース発行費	5,371,299	4,602,150	769,149
各種委員会旅費・会場費	8,467,323	9,027,812	△ 560,489
各種委員会経費	1,538,564	3,977,046	△ 2,438,482
専門医等認定事業費	12,187,912	12,005,461	182,451
実習研修事業費	1,311,282	791,668	519,614
研修会事業費	6,731,279	12,227,068	△ 5,495,789
海外研修助成金	1,400,000	1,850,000	△ 450,000
優秀論文表彰金	400,000	300,000	100,000
リハ啓発活動事業費	2,312,487	2,207,192	105,295
地方会事務局運営補助金	7,960,000	7,960,000	0
診療がトラヒコ策定費	4,965,541	4,818,337	147,204
専門医会経費	14,612,031	13,107,075	1,504,956
0	0	0	0
DVD作製費	2,299,500	2,957,875	△ 658,375
データマネジメント事業費	0	13,337,000	△ 13,337,000
受託事業費	4,521,525	0	4,521,525
② 管理費	85,202,966	77,290,073	7,912,893
給料手当	35,387,744	34,426,454	961,290
退職給付費用	1,399,455	997,380	402,075
福利厚生費	4,927,130	4,666,584	260,546
総会費	2,724,043	1,701,945	1,022,098
理事会費	7,625,493	12,753,908	△ 5,128,415
評議員会費	10,021,132	0	10,021,132
旅費交通費	854,492	1,086,952	△ 232,460
顧問料	2,772,000	2,772,000	0
ホームページ維持管理費	572,565	682,290	△ 109,725
通信運搬費	1,470,100	1,709,513	△ 239,413
情報関連整備費	1,189,341	1,188,142	1,199
什器備品費	612,607	1,113,530	△ 500,923
消耗品費	386,552	632,013	△ 245,461
印刷製本費	1,150,297	1,623,234	△ 472,937
光熱水料費	508,291	565,060	△ 56,769
賃借料	5,542,740	5,417,786	124,954
租税公課	460,400	462,600	△ 2,200
食糧金	2,956,075	2,930,425	25,650
震災対策費	2,276,000	0	2,276,000
支払手数料	1,584,582	1,657,483	△ 72,901
減価償却費	66,780	66,780	0
雑費	715,147	835,994	△ 120,847
経常費用計	262,139,263	284,098,474	△ 21,959,211
当期経常増減額	△ 26,380,338	△ 24,957,218	△ 1,423,120

ページを変更した。今後も、利便性を考えての
ホームページの改訂および iPad/smartphone 向
けコンテンツの作成を行う。

10. 教育及び研修

1) 卒後実習研修会

・脊損尿路管理研修会

期日：平成 23 年 12 月 3 日～4 日

会場：和歌山県立医科大学

受講者数：14 名

・義手・義足適合判定医師研修会アドバンスト・
コース

期日：平成 23 年 9 月 11 日～12 日・10 月 17 日

会場：岡山国際交流センター・岡山労働基準監

督署

受講者数：8 名

・小児のリハビリテーション実習研修会

期日：平成 23 年 9 月 8 日～10 日

会場：秋田県立医療療育センター

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 26,380,338	△ 24,957,218	△ 1,423,120
一般正味財産期首残高	208,815,752	233,772,970	△ 24,957,218
一般正味財産期末残高	182,435,414	208,815,752	△ 26,380,338
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III. 正味財産期末残高	182,435,414	208,815,752	△ 26,380,338

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準について

退職給付引当金……職員が全員退職した場合の期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。

(2) 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は、税込方式による。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定 期 預 金	100,000,000	0	0	100,000,000
小 計	100,000,000	0	0	100,000,000
特定資産				
学術研究助成資産	80,000,000	0	20,000,000	60,000,000
学術集会事業積立資産	10,000,000	0	0	10,000,000
退職給付引当資産	3,558,529	1,232,996	0	4,791,525
小 計	93,558,529	1,232,996	20,000,000	74,791,525
合 計	193,558,529	1,232,996	20,000,000	174,791,525

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち、指定正味財産からの充当額)	(うち、一般正味財産からの充当額)	(うち、負債に対応する金額)
基本財産				
定 期 預 金	100,000,000	(0)	(100,000,000)	—
小 計	100,000,000	(0)	(100,000,000)	—
特定資産				
学術研究助成資産	60,000,000	(0)	(60,000,000)	—
学術集会事業積立資産	10,000,000	(0)	(10,000,000)	—
退職給付引当資産	4,791,525	(0)	(0)	(4,791,525)
小 計	74,791,525	(0)	(70,000,000)	(4,791,525)
合 計	174,791,525	(0)	(170,000,000)	(4,791,525)

受講者数：9名

・臨床筋電図・電気診断学入門講習会

期日：平成23年10月1日～2日

会場：慶應義塾大学病院

受講者数 36名

・職業リハビリテーション研修会

▶表 3

財 産 目 録

(平成24年3月31日現在)

(単位：円)

科 目		金 額		
Ⅰ資産の部				
1. 流動資産				
現金預金				
現金手許有高		118,821		
振替貯金		2,624,238		
郵便貯金	通常貯金	11,404		
普通預金	三菱東京UFJ銀行 池袋東口支店	1,712,396		
同	三井住友銀行 千 川 支 店	157,663		
同	東京シティ信用金庫 神 奈 坂 支 店	4,382,137		
未収金	DVD著作権料	969,255		
前払費用	ドメイン管理料他	22,665		
前払金	次年度学術集会運営費	3,653,000		
流動資産合計			13,651,579	
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
基本財産	三菱UFJ信託銀行 池 袋 支 店 定期預金	100,000,000		
基本財産合計		100,000,000		
(2) 特定資産				
学術研究助成資産	三菱東京UFJ銀行 池袋東口支店 定期預金	60,000,000		
学術集会事業積立資産	三井住友銀行 千 川 支 店 同	10,000,000		
退職給付引当資産	東京シティ信用金庫 神 奈 坂 支 店 普通預金	4,791,525		
特定資産合計		74,791,525		
(3) その他固定資産				
ソフトウェア	会計ソフト	2,580,165		
保証金	事務局賃貸契約	1,050,000		
その他固定資産合計		3,630,165		
固定資産合計			178,421,690	
資産合計				192,073,269
Ⅱ負債の部				
1. 流動負債				
未払金	学会誌発送費他	3,732,728		
預り金	職員に対する源泉所得税他	655,802		
未払住民税	法人住民税均等割	70,000		
未払消費税等	消費税及び地方消費税	387,800		
流動負債合計			4,846,330	
2. 固定負債				
退職給付引当金		4,791,525		
固定負債合計			4,791,525	
負債合計				9,637,855
正味財産				182,435,414

期日：平成23年10月30日～31日

会場：岡山国際交流センター・吉備高原医療リ

ハビリテーションセンター

受講者数：11名

- ・(平成23年度第1回) 嚥下障害実習研修会

期日：平成23年9月24日～25日

会場：浜松市リハビリテーション病院ほか

受講者数：28名

- ・福祉・地域リハビリテーション実習研修会

期日：平成24年2月17日～18日

会場：横浜市総合リハビリテーションセンター

受講者数：18名

- ・(平成23年度第2回) 嚥下障害実習研修会

期日：平成24年2月25日～26日

会場：浜松市リハビリテーション病院

受講者数：28名

- ・動作解析・運動学実習研修会

期日：平成24年3月22日～24日

会場：藤田保健衛生大学

受講者数：18 名

2) 学術集会研修会

期日：平成 23 年 11 月 2 日～3 日

会場：幕張メッセ

受講者数：1606 名

3) 専門医会学術集会研修会

期日：平成 23 年 12 月 10 日～11 日

会場：神戸国際会議場

受講者数：758 名

4) 病態別実践リハビリテーション医学研修会

・「骨関節障害」

期日：平成 23 年 9 月 10 日

会場：大手町サンケイプラザ・301～303 号室

受講者数：91 名

・「神経系障害」

期日：平成 23 年 10 月 15 日

会場：大手町サンケイプラザ・301～303 号室

受講者数：109 名

・「内部障害」

期日：平成 24 年 2 月 18 日

会場：大手町サンケイプラザ・301～303 号室

受講者数：93 名

5) 生涯教育研修会

北海道ブロック

・期日：平成 23 年 4 月 24 日

会場：札幌医科大学記念ホール

受講者数：66 名

・期日：平成 23 年 10 月 22 日

会場：北海道大学医学部学友会館フラテ

受講者数：47 名

・期日：平成 24 年 3 月 3 日

会場：札幌医科大学記念ホール

受講者数：39 名

東北ブロック

・期日：平成 23 年 9 月 24 日

会場：秋田県総合保健センター 2 階大会議室

受講者数：60 名

・期日：平成 23 年 11 月 13 日

会場：コラッセふくしま

受講者数：84 名

・期日：平成 24 年 3 月 4 日

会場：宮城県教育会館 フォレスト仙台 2 階

ホール

受講者数：96 名

関東ブロック

・期日：平成 23 年 9 月 10 日

会場：東京大学山上会館

受講者数：191 名

・期日：平成 23 年 10 月 1 日

会場：新潟大学医学部有壬記念館

受講者数：28 名

・期日：平成 23 年 12 月 3 日

会場：帝京大学新本部棟 2 階臨床大講堂

受講者数：218 名

・期日：平成 24 年 2 月 18 日

会場：前橋テルサ

受講者数：43 名

・期日：平成 24 年 3 月 24 日

会場：埼玉県県民健康センター 2 階大ホール

受講者数：213 名

北陸ブロック

・期日：平成 23 年 9 月 24 日

会場：ホテル金沢

受講者数 42 名

・期日：平成 24 年 3 月 24 日

会場：金沢大学病院 十全講堂

受講者数：35 名

中部・東海ブロック

・期日：平成 23 年 8 月 27 日

会場：大正製薬名古屋支店

受講者数：105 名

・期日：平成 23 年 9 月 10 日

会場：静岡グランドホテル中島屋

受講者数：44 名

・期日：平成 24 年 1 月 21 日

会場：江崎ホール

受講者数：44 名

・期日：平成 24 年 2 月 4 日

会場：大正製薬名古屋支店

受講者数：82 名

近畿ブロック

・期日：平成 23 年 5 月 28 日

会場：大阪市立大学

受講者数：78 名

・期日：平成 23 年 7 月 9 日

▶表 4

収 支 計 算 書

(平成23年 4 月 1 日から平成24年 3 月31日まで)

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
I. 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 会費収入	115,500,000	118,200,000	△ 2,700,000	
正会員会費収入	115,500,000	118,200,000	△ 2,700,000	
② 事業収入	123,210,000	114,258,948	8,951,052	
学術集会事業収入	76,600,000	65,455,906	11,144,094	
参加費収入	44,200,000	39,032,000	5,168,000	
抄録集販売収入	600,000	1,138,306	△ 538,306	
展示収入	20,000,000	11,331,000	8,669,000	
広告料収入	1,300,000	330,000	970,000	
協賛金等収入	10,000,000	12,688,600	△ 2,688,600	
共同演者申込料収入	500,000	936,000	△ 436,000	
会誌等発行事業収入	14,800,000	10,370,252	4,429,748	
印刷収入	700,000	341,400	358,600	
広告料収入	4,000,000	2,152,500	1,847,500	
会誌販売収入	7,600,000	6,035,576	1,564,424	
著作権料収入	2,500,000	1,840,776	659,224	
専門医等認定事業収入	13,300,000	13,530,000	△ 230,000	
審査料収入	4,000,000	5,630,000	△ 1,630,000	
登録料収入	3,300,000	3,020,000	280,000	
更新料収入	6,000,000	4,880,000	1,120,000	
研修会事業収入	12,000,000	6,213,000	5,787,000	
専門医会収入	6,510,000	14,330,190	△ 7,820,190	
専門医会学術集会収入	6,510,000	14,330,190	△ 7,820,190	
受託研究事業収入	0	4,359,600	△ 4,359,600	科目追加
③ 基本財産運用収入	600,000	418,605	181,395	
基本財産利息収入	300,000	399,999	△ 99,999	
学術研究助成基金利息収入	300,000	18,606	281,394	
④ 補助金収入	1,000,000	298,400	701,600	
国庫補助金収入	1,000,000	0	1,000,000	
民間助成金収入	0	298,400	△ 298,400	
⑤ 寄附金収入	10,000,000	2,276,000	7,724,000	
寄附金収入	10,000,000	2,276,000	7,724,000	
⑥ 雑収入	190,000	306,972	△ 116,972	
受取利息収入	90,000	11,722	78,278	
雑収入	100,000	295,250	△ 195,250	
事業活動収入計	250,500,000	235,758,925	14,741,075	
2. 事業活動支出				
① 事業費支出	179,780,000	174,636,797	5,143,203	
学術集会事業費支出	66,600,000	64,069,618	2,530,382	
会場費支出	15,225,000	14,746,431	478,569	
運営費支出	44,435,685	42,480,646	1,955,039	
印刷・通信費支出	4,418,400	3,272,047	1,146,353	
会議費等支出	630,915	91,758	539,157	
事務局経費支出	1,890,000	3,478,736	△ 1,588,736	
抄録集作成費支出	5,000,000	5,031,797	△ 31,797	
会誌発行費支出	35,000,000	33,756,139	1,243,861	
リハニュース発行費支出	5,200,000	5,371,299	△ 171,299	
各種委員会旅費・会場費支出	13,000,000	8,467,323	4,532,677	
各種委員会経費支出	6,637,000	1,700,489	4,936,511	
専門医等認定事業支出	10,608,000	12,187,912	△ 1,579,912	
実習研修事業支出	2,202,000	1,311,282	890,718	
研修会事業支出	7,500,000	6,731,279	768,721	
受託事業費支出	0	4,359,600	△ 4,359,600	
海外研修助成金支出	2,900,000	1,400,000	1,500,000	
優秀論文表彰金支出	400,000	400,000	0	
リハ啓発活動事業支出	2,500,000	2,312,487	187,513	
地方会事務局運営補助金支出	7,960,000	7,960,000	0	
診療ガイドライン策定支出	3,013,000	4,965,541	△ 1,952,541	
専門医会経費支出	10,260,000	14,612,031	△ 4,352,031	
専門医会学術集会支出	6,510,000	11,177,535	△ 4,667,535	
専門医会支出	3,750,000	3,434,496	315,504	
補助金支出	1,000,000	0	1,000,000	
国庫補助事業費支出	1,000,000	0	1,000,000	

会場：ピアザ淡海

受講者数：79 名

- ・ 期日：平成 23 年 9 月 17 日

会場：中外製薬大阪支店会議室

受講者数：179 名

- ・ 期日：平成 23 年 10 月 15 日

会場：兵庫医療大学 オクタホール

受講者数：88 名

- ・ 期日：平成 23 年 11 月 5 日

会場：生田神社会館

受講者数：65 名

- ・ 期日：平成 23 年 11 月 20 日

会場：京都府立医科大学附属図書館ホール

受講者数：54 名

- ・ 期日：平成 24 年 3 月 10 日

会場：奈良県立医科大学厳樞会館

受講者数：74 名

中国・四国ブロック

- ・ 期日：平成 23 年 6 月 11 日

会場：高新文化ホール (7 階)

② 管理費支出	86,636,000	83,902,841	2,733,159
給料手当支出	35,000,000	35,387,744	△ 387,744
退職給付支出	0	166,110	△ 166,110
福利厚生費支出	4,000,000	4,927,130	△ 927,130
総会費支出	1,600,000	2,724,043	△ 1,124,043
理事会費支出	6,000,000	7,625,493	△ 1,625,493
評議員会費	4,800,000	10,021,132	△ 5,221,132
旅費交通費支出	500,000	854,492	△ 354,492
顧問料支出	2,790,000	2,772,000	18,000
ホームページ維持管理費支出	2,800,000	572,565	2,227,435
通信運搬費支出	2,000,000	1,470,100	529,900
情報関連整備費支出	2,066,000	1,189,341	876,659
什器備品費支出	500,000	612,607	△ 112,607
消耗品費支出	400,000	386,552	13,448
印刷製本費支出	1,500,000	1,150,297	349,703
光熱水料費支出	660,000	508,291	151,709
賃借料支出	5,270,000	5,542,740	△ 272,740
租税公課支出	1,400,000	460,400	939,600
負担金支出	2,700,000	2,956,075	△ 256,075
50周年記念事業費支出	300,000	0	300,000
震災対策費支出	10,000,000	2,276,000	7,724,000
支払手数料支出	1,750,000	1,584,582	165,418
雑支出	600,000	715,147	△ 115,147
事業活動支出計	266,416,000	258,539,638	7,876,362
事業活動収支差額	△ 15,916,000	△ 22,780,713	6,864,713
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
① 特定資産取崩収入	20,000,000	20,166,110	△ 166,110
学術研究助成資産取崩収入	20,000,000	20,000,000	0
退職給付引当資産取崩収入	0	166,110	△ 166,110
② その他収入	0	1,347,000	△ 1,347,000
前払金収入	0	1,347,000	△ 1,347,000
投資活動収入計	20,000,000	21,513,110	△ 1,513,110
2. 投資活動支出			
① 特定資産取得支出	6,000,000	1,399,455	4,600,545
50周年記念事業積立資産取得支出	5,000,000	0	5,000,000
退職給付引当資産取得支出	1,000,000	1,399,455	△ 399,455
投資活動支出計	6,000,000	1,399,455	4,600,545
投資活動収支差額	14,000,000	20,113,655	△ 6,113,655
III 予備費支出	500,000	0	500,000
当期収支差額	△ 2,416,000	△ 2,667,058	251,058
前期繰越収支差額	7,796,642	7,796,642	0
次期繰越収支差額	5,380,642	5,129,584	251,058

平成23年度収支計算書の差替えについて
去る5月30日の代議員総会で、平成23年度収支計算書の説明を行った際、根本明宜代議員から事業活動収支の部の事業収入科目に受託研究事業収入が記入されていない旨のご指摘に対し、事業活動収入計に誤りがなかったため記入漏れはない旨の説明を行い承認されました。その後精査したところ、総会資料を印刷する際に受託研究事業収入の記載がない原稿を渡して印刷してしまったために記入漏れが生じていたことが判明いたしました。幸い23年度収支には誤りがなく影響はありませんが、先に記入漏れがない旨の誤った説明をしましたことを心より深くお詫び申し上げますとともに、ここに修正版を掲載いたしますので、何卒ご了承くださいませようお願い申し上げます。

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には現金・郵便貯金・普通預金・未収金・仮払金・預り金・未払金、未払住民税、未払消費税等を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)		
科 目	前期末残高	当期末残高
現 金	112,186	118,821
郵 便 貯 金	2,570,789	2,635,642
普 通 預 金	5,555,776	6,252,196
未 収 金	2,364,535	969,255
仮 払 金	0	0
合 計	10,603,286	9,975,914
預 り 金	431,140	655,802
未 払 金	2,305,504	3,732,728
未 払 住 民 税	70,000	70,000
未 払 消 費 税 等	0	387,800
合 計	2,806,644	4,846,330
次期繰越収支差額	7,796,642	5,129,584

3. 負担金内訳

日本障害者協議会，日本専門医制評価・認定機構，日本障害者リハビリテーション協会，内保連，外保連，理学療法士等講習会，ISPRM，「運動器の10年」日本委員会

監査報告書	
平成24年4月16日	
公益社団法人 日本リハビリテーション医学会 理事長 里 宇 明 元 殿	
公益社団法人 日本リハビリテーション医学会	
監 事	佐田 幹男
監 事	木村 彰男
公認会計士	袖山 裕行
平成23年4月1日から平成24年3月31日に至る平成23年度の業務執行及び財産の状況に関し監査を実施した。 監査の結果、会務は定款に従い理事会及び評議員会並びに総会の議決に基づき誤りなく行われており、また財産の状況については、会計基準に基づき処理され、妥当のものと認め報告する。	

受講者数：59 名	平成 24 年 3 月末現在	1,854 名
・ 期日：平成 23 年 6 月 26 日	2) 平成 23 年度認定臨床医認定者数	74 名
会場：徳島大学医学部臨床第 1 及び第 2 講堂	平成 24 年 3 月末現在	3,914 名
受講者数：106 名	12. 指導責任者の認定	
・ 期日：平成 23 年 11 月 5 日	平成 23 年度指導責任者認定者数	51 名
会場：高知商工会館光の間（4 階）	平成 24 年 3 月末現在	945 名
受講者数：43 名	13. 研修施設の認定	
・ 期日：平成 23 年 12 月 4 日	平成 23 年度研修施設認定数	33 施設
会場：岡山コンベンションセンターレセプションホール	平成 24 年 3 月末現在	517 施設
受講者数：130 名	14. 学術研究助成	
九州ブロック	①本学会誌に掲載された論文のうち優秀な論文を表彰した。	
・ 期日：平成 23 年 9 月 4 日	②若手研究者への国際学術交流の一環として海外研修助成を行った。	
会場：九州大学医学部百年講堂大ホール	③専門医会研究補助金対象者に補助金を交付し、助成支援を行った。	
受講者数：255 名	15. 市民公開講座の開催	
・ 期日：平成 24 年 2 月 19 日	平成 23 年度は、①茨城県、②石川県の各地で市民公開講座を開催し、広くリハビリテーション医学・医療の啓発に努めた。	
会場：くまもと森都心プラザホール		
受講者数：181 名		
11. 専門医，認定臨床医の認定		
1) 平成 23 年度専門医認定者数	71 名	

Ⅲ. 平成 24 年度事業計画案及び収支予算案について

平成 24 年度事業計画案について、はじめに、事業方針について里宇理事長から、引き続き庶務担当の赤居副理事長から説明が行われ、原案どおり承認された。

平成 24 年度収支予算案について、財務担当の上月副理事長から説明が行われ、原案どおり承認された。(表 6)

平成 24 年度 事業計画

(平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日まで)

【事業方針】

1. 学術活動の推進

- ① 年次学術集会を開催する。
- ② 地方会学術集会の開催を支援する。
- ③ 専門医会学術集会を開催する。
- ④ 学会誌を刊行する。

2. 専門医・認定臨床医制度の充実と発展

- ① リハビリテーション医育成アクションプランを加速する。
- ② 関係組織の改編を含め、専門医制度改革に対応する。
- ③ 専門医・認定臨床医制度の見直しを継続する。

3. リハビリテーション医学教育の充実

- ① リハビリテーション医学講座の設置を働きかける。
- ② 卒前教育を充実させる。
- ③ 初期臨床研修における教育を充実させる。
- ④ 専門医・認定臨床医育成のための教育を充実させる。
- ⑤ 医師生涯学習における教育を充実させる。
- ⑥ 一般医家に対するリハビリテーションプライマリケア教育を充実させる。

4. 調査・研究事業の推進

- ① 診療ガイドラインを策定する。
- ② エビデンス構築基盤としてのデータマネジメントシステムを関係団体と協力して整備する。
- ③ 競争的研究資金に応募し、多施設共同研究を企画・推進する。

5. 社会保障制度改革への対応と提言

- ① 関連団体との連携と情報交換を強化する。
- ② 2012 年診療報酬・介護報酬改定後の検証を行う。
- ③ 制度体系について、中長期的展望に立った提言を行う。

6. 社会への貢献

- ① リハビリテーション医療の充実・普及を図る。
- ② 障害者の社会参加を促進する。
- ③ 市民啓発事業を実施する。
- ④ 脳卒中対策基本法の成立に向けた活動を継続する。
- ⑤ 東日本大震災後の復興支援に貢献する。

7. 国際化の推進

- ① 各国研究者間の交流を促進する。
- ② アジア地域との連携と交流を促進する。
- ③ 国際学会への対応を強化する。
- ④ 国際学会を招致する。

8. 学会組織の見直しと充実

- ① 公益社団法人としての体制を整備・強化する。
- ② 地方会機能を強化する。
- ③ 学会の危機管理体制を整備する。
- ④ 会員ネットワークシステムの一層の充実を図る。
- ⑤ 広報活動の一層の充実を図る。

9. 50 周年記念事業の実行

- ① 学会の活動性の向上、社会啓発、国際化を骨子とした記念事業を実施する。
- ② 事業に必要な資金を確保する。
- ③ リハビリテーション医学白書の出版を準備する。

【事業計画】

1. 学術集会の開催

- 1) 第 49 回日本リハビリテーション医学会学術集会を、平成 24 年 5 月 31 日、6 月 1 日、2 日の 3 日間、福岡国際会議場及び福岡サンパレスに於いて開催する。
- 2) 地方会学術集会の開催
各地方会において学術集会を開催する。
- 3) 第 7 回専門医会学術集会を、平成 24 年 11 月 17 日、18 日の 2 日間、名古屋国際会議場に於いて開催する。

2. 諸会議

- 1) 代議員総会 1 回
- 2) 理事会
- 3) 地方会総会
各地方会において総会を開催
- 4) 倫理委員会
委員会所管事例の検討
- 5) 専門医会

▶表 6

収支予算書（事業別区分経理の内訳表）

（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）

（単位：円）

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引控除	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取会費	61,000,000	61,000,000	0	122,000,000
正会員受取会費	58,500,000	58,500,000		117,000,000
賛助会員受取会費	2,500,000	2,500,000		5,000,000
事業収益	128,083,000	0	0	128,083,000
学術集會事業収益	76,153,000			76,153,000
会誌等発行事業収益	12,470,000			12,470,000
専門医等認定事業収益	24,000,000			24,000,000
研修会事業収益	7,700,000			7,700,000
専門医會収益	7,760,000			7,760,000
基本財産等運用収益	210,000	210,000	0	420,000
基本財産受取利息	0	210,000		210,000
学術研究助成基金受取利息	210,000			210,000
受取補助金等	0	0	0	0
受取国庫補助金	0			0
受取寄附金	0	3,900,000	0	3,900,000
受取寄附金	0	3,900,000		3,900,000
雑収益	400,000	30,000	0	430,000
受取利息		30,000		30,000
雑収益	400,000			400,000
経常収益計	189,693,000	65,140,000	0	254,833,000
(2) 経常費用				
事業費	233,530,190		0	233,530,190
学術集會事業費	75,235,000			75,235,000
抄録集作費	5,000,000			5,000,000
会誌発行費(含償却費)	38,110,000			38,110,000
リハニュース発行費	5,200,000			5,200,000
各種委員会旅費・会場費	13,000,000			13,000,000
各種委員会経費	9,000,000			9,000,000
専門医等認定事業	10,250,000			10,250,000
実習研修事業	1,800,000			1,800,000
研修会事業	9,600,000			9,600,000
海外研修助成金	3,200,000			3,200,000
国際会議出席旅費補助金	500,000			500,000
優秀論文表彰金	400,000			400,000
リハ啓発活動事業	1,400,000			1,400,000
地方会事務局運営補助金	7,960,000			7,960,000
診療ガイドライン策定	2,400,000			2,400,000
専門医會経費	11,390,000			11,390,000
給料手当	23,455,000			23,455,000
福利厚生費	3,015,000			3,015,000
退職給付費用	670,000			670,000
旅費交通費	536,000			536,000
ホームページ維持管理費	1,514,200			1,514,200
通信運搬費	1,005,000			1,005,000
情報関連整備費	871,000			871,000
什器備品費	804,000			804,000
消耗品費	234,500			234,500
印刷製本費	1,005,000			1,005,000
光熱水料費	442,200			442,200
賃借料	3,530,900			3,530,900
租税公課	450,000			450,000
支払手数料	1,105,500			1,105,500
減価償却費	44,890			44,890
雑費	402,000			402,000

- ① 専門医會總會の開催
- ② 専門医會学術集會の開催
- ③ 専門医會幹事選挙
- ④ 年次学術集會における専門医企画
- ⑤ RJN 活動
- ⑥ SIG 活動
- ⑦ WG 活動
- ⑧ 専門医間の交流促進
- ⑨ 専門医の質の向上のための研修
- ⑩ 学会データベースを利用した研究推進
- ⑪ 専門医會研究補助金

6) 地方會連絡協議會

- ①代議員選挙を踏まえて、地方會連絡協議會として選挙結果の公表など意見をまとめ、役員會に提案する。また、地方會における会員以外の発表について、今後更に問題点を検討する。

7) 各種委員会

編集委員会他 14 委員会

(1) 編集委員会

- ①学術集會での発表内容の向上、卒前・卒後教育の充実、エビデンス構築の基盤整備等に寄与すべく、質の高い学会誌を発行する。

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引控除	合計
管理費		41,327,810		0
給料手当		11,545,000		11,545,000
福利厚生費		1,485,000		1,485,000
退職給付費用		330,000		330,000
総会費		1,200,000		1,200,000
理事会費		6,300,000		6,300,000
旅費交通費		264,000		264,000
顧問料		2,790,000		2,790,000
ホームページ維持管理費		745,800		745,800
通信運搬費		495,000		495,000
情報関連整備費		429,000		429,000
什器備品費		396,000		396,000
消耗品費		115,500		115,500
印刷製本費		495,000		495,000
光熱水料費		217,800		217,800
賃借料		1,739,100		1,739,100
租税公課		50,000		50,000
負担金		7,066,000		7,066,000
50周年事業費		4,900,000		4,900,000
支払手数料		544,500		544,500
減価償却費		22,110		22,110
雑費		198,000		198,000
経常費用計	233,530,190	41,327,810	0	274,858,000
当期経常増減額	△ 43,837,190	23,812,190	0	△ 20,025,000
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	21,312,190	△ 21,312,190		0
当期一般正味財産増減額	△ 22,525,000	2,500,000	0	△ 20,025,000
一般正味財産期首残高				189,533,472
一般正味財産期末残高	△ 22,525,000	2,500,000	0	△ 20,025,000
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高				0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	△ 22,525,000	2,500,000	0	△ 20,025,000

- ②学会の広報活動に寄与すべく、各種情報を学会誌に掲載するとともに、学会誌の電子化・国際化を一層進める。
- (2) 評価・用語委員会
- ① Web 版リハビリテーション医学用語事典の運用と内容の充実
- ②リハビリテーション医学用語集第7版の維持管理
- ③評価法調査の継続
- ④委員会としての広報の充実
- ⑤他委員会との連携の強化
- (3) 教育委員会
- ①卒前教育カリキュラムと初期臨床研修
- ②生涯教育研修会
- ③実習研修会
- ④病態別実践リハビリテーション研修会
- ⑤一般医家リハビリテーション研修会（非会員医師対象の基礎講座）
- ⑥専門医受験支援講習会
- ⑦指導医研修会
- ⑧医療倫理等の専門医受験，更新講習会
- ⑨カリキュラムの変更に伴う，研修手帳の印刷

- (4) 資格認定委員会（現在検討中）
- ①専門医の認定及び資格更新に関すること
- ②認定臨床医の認定及び資格更新に関すること
- ③指導責任者の認定及び資格更新に関すること
- ④生涯教育研修単位の付与に関すること
- ⑤新しい専門医制度に関すること
- (5) 施設認定委員会（現在検討中）
- ①研修施設の認定及び資格更新に関すること
- ②新しい専門医制度に関すること
- (6) 試験委員会
- ①専門医認定，臨床認定医認定のための試験問題作成（画像問題・図表を含む）
- ②専門医認定のための口頭試験問題作成，同問題の採点基準の作成
- ③専門医認定のための口頭試験問題の出題方法の策定
- ④実施した試験問題や予備問題の保存・管理
- ⑤出題内容，問題作成の手順等の検討
- (7) 社会保険等委員会
- ①医療保険に関する業務
- ②介護保険に関する業務
- ③リハビリテーション診療報酬体系を検討する業

務

- ④その他の業務（医療保険と介護保険の整合性の検討）
- (8) 障害保健福祉委員会
 - ①障害者施策の動向と障害児・者を取りまく関連制度等の検討
 - ②障害者スポーツへのリハビリテーション科医の関わりの検討
 - ③地域リハビリテーションのあり方とリハビリテーション科医の役割についての検討
- (9) 関連機器委員会
 - ①リハビリテーション機器データベース化の準備
 - ②福祉用具についての広報活動
 - ③運動療法機器，作業療法機器についての広報活動
- (10) 関連専門職委員会
 - ①理学療法士・作業療法士養成施設等教員養成研修会の運営協力
 - ②特定看護師の動向についての検討
- (11) 会則検討委員会
 - ①規則，内規，申し合わせ等の諸会則の整理
 - ②その他
- (12) 広報委員会
 - ①広報ニュースの発行
 - ②ホームページの改編・管理
 - ③会員 Web システムの有効活用，IT 化の推進
 - ④リハ医育成 AP の実践
 - ⑤リハ医学の普及・発展へ向けた啓発活動（医師，一般，企業，官庁等を対象）
 - ⑥50 周年事業（エッセイ募集，ロゴの募集等）
- (13) 国際委員会
 - ①平成 24 年度日本リハ医学会員海外研修助成プログラムの実施
 - ②平成 24 年度外国人リハ医師対象の短期交流助成プログラムの実施
 - ③Honorary/Corresponding Member の拡充，活動内容の見直し継続
 - ④日韓合同カンファレンスの位置づけ検討
 - ⑤英文ホームページの充実
 - ⑥英文 annual report の作成と H/C Member への送付
- (14) 診療ガイドライン委員会
 - ①ガイドラインコア委員会：活動計画調整

- ②脳卒中治療ガイドライン策定委員会
 - ・脳卒中治療ガイドライン 2009 のパブリックコメントを踏まえ，3 版作成への活動
 - ・2008 年以降の文献検索を定期的実施する．
 - ・脳卒中治療ガイドライン合同委員会によるガイドライン 2009 の英訳作業
- ③脳性麻痺リハビリテーションガイドライン策定委員会：2 版作成に向けて活動
- ④呼吸リハビリテーションガイドライン策定委員会：第 2 版作成に向けて活動
- ⑤リハビリテーション連携パス策定委員会
 - ・全国の脳卒中連携パスの動向を調査する．
 - ・急性期・回復期と維持期との連携を促進していくための方策を検討する．
- ⑥障害者体力評価ガイドライン策定委員会：ガイドライン作成に向けて活動
- ⑦神経筋疾患・脊髄損傷の呼吸リハビリテーションガイドライン策定委員会：ガイドライン作成に向けて活動
- ⑧がんのリハビリテーションガイドライン策定委員会：ガイドライン作成に向けて活動を行う．また，がんのリハビリテーションに関するグランドビジョンの作成にも取り組む．
- ⑨大規模災害リハビリテーションマニュアル策定委員会：マニュアルの作成及びピア・レビューの実施
- (15) システム委員会
 - ①現行のリハビリテーション医学会システムの保守，改良
 - ②新たなシステムの立つインフラの検討
 - ③研修ポイント，会費等の電子決済等の検討
 - ④電磁的方法による選挙の検討
- (16) データマネジメント特別委員会
 - ①本医学会，理学療法士協会，作業療法士協会及び言語聴覚士協会の 4 機関による第 1 回共通症例データベース構築合同委員会の活動方針であるデータマネジメントシステムの構築，データマネジメントシステムの広報，データ分析支援及び共同運用協議体・事務局の開設・運営を具体化する．
- (17) ワーキンググループ
 - ①選挙の在り方に関する検討委員会
 - ②専門医制度改革対応 WG

3. 会誌の発行

会誌「The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine」を年13回（第49回第4号～第12号，特別号，第50巻第1号～第3号），1回9,400部を発行する。

4. 広報誌の発行

広報誌「日本リハビリテーション医学会ニュース」（リハニュース）を年4回（季刊）発行する。また，リクルート向け特別号（44号）の改訂版を発行する。

5. ホームページの管理運営

- 1) 掲載内容の更新，追加等を実施する。（適宜内容の見直しやトップページを含めた内容の整理を行う。）
- 2) 理事会，各委員会，専門医会と連絡を密にして，コンテンツを充実する。

6. 教育及び研修

1) 実習研修会

筋電図，脊損尿路，小児，福祉/地域，動作解析，義肢，嚥下，職業の研修会を開催する。また，専門的臨床検査，治療技術に関する新企画の検討を行う。

2) 学術集会研修会

第49回日本リハビリテーション医学会学術集会を，平成24年5月31日，6月1日，2日の3日間，福岡国際会議場及び福岡サンパレスに於いて開催する。

3) 専門医会学術集会研修会

平成24年11月17日，18日の2日間，名古屋国際会議場に於いて開催する。

4) 病態別実践リハビリテーション医学研修会

「骨関節障害」「神経系障害」「内部障害」の3研修会を開催する。

5) 一般医家に役立つリハビリテーション医療研修会

平成24年4月8日，大手町サンケイプラザに於いて開催する。

6) 医学生リハビリテーションセミナー

医学生のためのリハビリテーションセミナーを開催する。

7. 専門医の認定

専門医（リハビリテーション科専門医）の認定審査を行う。

8. 認定臨床医の認定

認定臨床医の審査認定を行う。

9. 指導責任者の認定

申請に基づき指導責任者の認定審査を行う。

10. 指導責任者の資格更新

指導責任者の資格更新審査を行う。

11. 研修施設の認定

申請に基づき研修施設の認定審査を行う。

12. 研修施設の資格更新

研修施設の資格更新審査を行う。

13. 専門医の資格更新

専門医の資格更新審査を行う。

14. 認定臨床医の資格更新

認定臨床医の資格更新審査を行う。

15. リハ医学啓発活動事業

各地方会で市民公開講座等を開催し，広くリハビリテーション医学の啓発活動を行う。

16. 学術研究助成

- 1) 優秀論文への助成
- 2) 若手研究者への海外研修助成
- 3) 外国人リハ医への交流研修助成
- 4) 専門医会研究補助金

17. 国際リハビリテーション関連

- 1) ISPRM，AOSPRM等の活動に参加する。
- 2) アジア地域での交流活動を行う。

18. その他

リハビリテーション関連団体の主催する各種事業の後援，協賛等を行う。

Ⅳ. 定款の変更案について

上月副理事長から，定款の変更案について説明があり，原案どおり承認された。

Ⅴ. 第52回（平成27年開催）学術集会会長の指名について

赤居副理事長から，第52回学術集会会長候補者について，理事会で協議した結果，里宇明元先生（慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室）が推薦された旨の報告があり，原案どおり承認された。

Ⅵ. 会費を2年以上滞納した者の扱いについて

庶務担当の赤居副理事長から，会費を2年以上滞納した者について，定款11条第2項により，会員の資格が喪失する旨の説明あり，承認された。なお，確認したい会員は事務局受付に該当者の名簿を設置してい

るので、申し出ることとした。

Ⅶ. 名誉会員について

里宇理事長から、江藤文夫会員を理事会で、定款第5条第2項第2号に基づき、名誉会員に推薦することに決定した旨の報告があり、原案どおりで承認された。

Ⅷ. Corresponding Member について

里宇理事長から、Dr.Li Jian Jun（李建軍）先生を理事会で、定款第5条第2項第5号に基づき、特別会員

（Corresponding Member）に推薦することに決定した旨の報告があり、原案どおりで承認された。

Ⅸ. その他

① 認定臨床医の生涯教育及び資格更新に関する内規の一部改正(案)について

浅見理事から、理事会で承認された認定臨床医の生涯教育及び資格更新に関する内規の一部改正(案)について報告があり、原案どおりで承認された。

以 上